

○ 草の根パートナー型

平成16年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	エチオピア
2. 事業名	エチオピア北西部におけるHIV/AIDS対策事業
3. 事業の背景と必要性	Amhara州はエチオピア国内で最もHIV/AIDSの感染状況が深刻な州の一つである。国平均のHIV感染率が6.6%、農村部におけるHIV感染率が約5%と推定される中、Amhara州の人口密集地におけるHIV感染率は1991/92年に13%、1999/2000年に20.8%、2001年には23.4%と急速に増加している。Amhara州におけるHIV感染拡大の原因としては、著しい貧困、干ばつとそれに伴う食糧難、低い識字率、失業、農村地域から都市部への人口流出、家族間でHIV/AIDSについて語る事がタブーとみなされる文化的沈黙、少女の早婚やFGM（Female Genital Mutilation：女性性器切除）などの因習、一夫多妻制がある。
4. 事業の目的	HIV感染予防のための行動変容が促進され、VCT（Voluntary Counseling and Testing：自発的カウンセリングと検査）サービスと性感染症対策が強化されることにより、新規HIV感染の減少に寄与し、HIV/AIDSによる社会経済的負荷が軽減されるようにする。
5. 対象地域	Amhara州、North Gondar県のGondar Zuriya郡、South Gondar県のEbinat郡及びDerra郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	5～49歳の合計475,000人 HIV予防教育においては5～15歳の子ども達をターゲットとし、VCTサービスと性感染症（STIs）対策においては15～49歳のリプロダクティブ年齢にある人々及びハイリスクグループをターゲットとする。
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の先生に対するライフスキル教育、小学生ピアエデュケーターの育成、小学生に対するライフスキル教育、AIDS啓発クラブ活動の推進、HIV/AIDSキャンペーンの実施を通して、HIV/AIDS予防対策に関する意識が向上する。 ● 3つのVCTセンターに従事するカウンセラーや検査技師に対して研修を行い、また必要な医療資機材の供与、VCTセンターの施設整備を行うことにより、適切なVCTサービスが提供されるようになる。 ● STIs対策を行う医療スタッフに対して研修を行い、また必要な医薬品等を供与することにより、STIs診断・治療が改善され、引いてはHIV感染阻止に貢献する。
8. 実施期間	2005年7月～2007年7月（2年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：21,558千円
10. 事業の実施体制	日本人プロジェクト・マネージャーが現地におけるプロジェクト全体の統括を行い、その補佐として専任の現地スタッフ5名をおく。本事業対象地では、ワールド・ビジョンの自主事業が行われておりそこで雇用している10人のスタッフが日々の活動やモニタリングを行う。また、ワールド・ビジョン・エチオピアからは、医者、MPH（Master of Public Health公衆衛生学修士）、看護士、財務管理専門家等のテクニカルサポートが入り、HIV対策活動自体の質の確保とプロジェクト運営監理におけるサポートがある。WVJ本部事務所では、海外事業部国際財務課が本事業を統括する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2. 活動内容	貧困・飢餓・戦禍・災害等に苦しむ人々に対して、緊急援助から開発援助までの一貫した支援活動を行っている。支援活動の内容は、チャイルド・スポンサーシップによる地域開発（農業支援、水資源開発、保健衛生、医療、教育、スラム開発等）、緊急・復興支援、ストリート・チルドレン救済、地雷対策、HIV/AIDS対策、難民支援等。2004年度実績、32カ国89事業、支援総額22億3,632万円。